

## 全国棚田サミットが

## 開催されました

去る11月8日・9日の2日間にわたり、第19回全国棚田サミットが有田川町で開催されました。全国各地から約830名の参加者があり、棚田保全の取り組みについての話し合いや意見交換が行われました。

基調講演では、世界各地の棚田を訪れ、写真を撮影されている写真家の青柳健二さんが「棚田は何故美しいのか」をテーマに講演をされました。青柳さんは、世界各地を旅する中で、日本の棚田を説明する際に蘭島（あらぎ島）の写真を見せて説明をされており、世界各地の人々も「なぜこんな形をしているのか」とびっくりするとの紹介がありました。棚田の背後には、人間と自然のせめぎ合いの歴史があり、その緊張感があるが故に単に「きれい」なのではなく「美しい」と感じるのではないかと説明がありました。

その後の分科会では、第1分科会で「棚田と文化的景観保全のあり方、取り組み」をテーマに話し合いが行われ、国の重要文化的景観に選定されている長野県千曲市、大分県豊後高田市、あらぎ島の取り組みについて発表がありました。千曲市では、「田毎の月」という日本文学

の伝統を活かした取り組みや棚田の貸し出しを行う名月会の活動報告がありました。豊後高田市では、中世に有名な莊園であったことに由来した現代版の莊園領主制である「莊園オーナー制」やブランド米「莊園米」の販売、農家民泊などの活動報告がありました。

現地見学では、あらぎ島、三田・沼の棚田を会場に行われました。あらぎ島を訪れた参加者からは、その景観の素晴らしさを賞賛する声が多く聞かれました。

あらぎ島と周囲の景観が国の重要文化的景観に選定され、全国棚田サミットが開催された本年、棚田保全に対する意識が高まりをみせましたが、これをスタートとし、今後の保全をどう図っていくのか継続的に検討を行うっていくことが求められます。



## 板尾区で獅子舞衣装道具を購入しました



財合総成  
自治助成  
センターの購入  
を受けても  
た  
財団法人自治  
センターの普  
及を目的と  
して文化振興  
事業やコ  
ミュニティ活  
動など各種  
の事業を実施  
・応援しています。

